

土木交通委員会 請願・陳情一覧

平成28年8月30日(火)

○緑政土木局関係

(新規分)

平成28年陳情第13号 天白公園の天白プール跡地を森として西の山へ戻すことを求める件

既済

○

平成28年陳情第15号 市道弥富相生山線の道路事業の廃止のために、都市計画変更を速やかに行うことを求める件

平成28年陳情第16号 相生山緑地を起点とする緑のネットワークを視点にして、市道弥富相生山線の道路事業の廃止手続を早急に市民とともに進めることを求める件

平成28年陳情第17号 都市計画審議会において、速やかに市道弥富相生山線の道路事業の廃止を決定することを求める件

(保留分)

平成27年請願第8号 相生山緑地に関する道路事業の廃止及び整備について、「市民による住民意向調査」の集計結果を尊重し、反映させることを求める件

all 保留

平成28年陳情第13号

天白公園の天白プール跡地を森として西の山へ戻すことを求める件

陳情者 天白区原三丁目102番地
太田敏光

要旨

都市公園である天白公園は、東の山、冒険の山及び西の山をもとの森として緑のまま残すことをコンセプトにした有名な公園で、市内各地の他区民や外国人も多数訪れる。

当初の計画では、大きな野球場やサッカーもできる広場をつくるはずであったが、我々天白区民は、天白村から与えられた自然を守り通してきた。

ところが、名古屋市は、もともと西の山の一部であった天白公園の天白プール跡地に、運動広場、芝生広場、幼児用遊具、健康器具及び児童用遊具をつくるという。

こんなことをやられたら、西の山が崩壊し、魅力が低減してしまう。

周辺の緑が都市化で減っていく中、西の山の多くの緑は貴重である。

ついては、次の事項の実現をお願いします。

- 1 天白公園の天白プール跡地を森として西の山へ戻すこと。

市道弥富相生山線の道路事業の廃止のために、都市計画変更を速やかに行うことを求める件

陳情者 春日井市押沢台7丁目14番地12
木村みよ

要旨

2014年12月26日に、河村名古屋市長は、自然を守るために、市道弥富相生山線の道路事業の廃止を表明した。これは、道路行政上、画期的なことであると思う。長い間、相生山緑地のすぐそばの相生山団地に住み、緑地を楽しみながら子供を育ててきた私にとって、この市長の決定はうれしいものだった。しかし、それから1年半が過ぎたが、廃止の手続きは進んでいない。

一体いつになったら、廃止のための都市計画変更ができるのだろうか。市長の廃止の意志は、いつになったら実現されるのだろうか。廃止を願う市民の気持ちは、いつになったら実現されるのだろうか。まず、市道弥富相生山線の道路事業を廃止してほしい。道路部分を公園にする都市計画変更を行ってほしい。その上で、どのような公園にするかを市民とともに検討していけばよいのだと思う。市民とともに考え、検討するには、時間がかかることだろう。手間もかかる。しかし、100年先のことまで考えた、自然を守り、自然を大切に、自然を生かした公園づくりのために、時間をかけてみんなで考えればよいのだと思う。

市長は、この任期の間に、都市計画変更を速やかに行ってほしい。自分の言ったことを実現すること、それは市長の責任だと思う。行政は、そのために全力を尽くしてほしい。

私は、相生山緑地が世界の「AIOIYAMA」になる必要はないと思っている。そうなるかどうかも疑問である。キャンプ場に適した場所だろうか、園路って何なのだろうかなど、市長の廃止宣言の中にも疑問は多くある。これらは、市長の案でしかない。コンクリートの産業廃棄物は、相生山の自然に合わない。一旦、自然を破壊して建設された部分の道路は壊して、相生山緑地を再生させることから出発してほしいと思う。

については、次の事項の実現をお願いする。

- 1 市道弥富相生山線の道路事業の廃止のために、都市計画変更を速やかに行うこと。

平成28年陳情第16号

相生山緑地を起点とする緑のネットワークを視点にして、市道弥富相生山線の道路事業の廃止手続を早急に市民とともに進めることを求める件

陳情者 天白区天白町大字野並字相生 28 番地の 341
相生山緑地を考える市民の会
共同代表 可 知 正 孝

要 旨

市道弥富相生山線の道路事業の廃止手続を進めるに当たり、緑地政策を基軸とした視点が抜け落ちている。

また、市民に市道弥富相生山線の道路事業の廃止表明の説明会が開かれていないままになっている。

さらに、市民とともにつくる姿勢が示されるべく、意見交換ができる場が設けられていない。

加えて、庁内会議として、世界の「AIOIYAMA」プロジェクト検討会議が開かれているが、その内容を会議録で確認できるのは、3カ月以上後となっている。

については、次の事項の実現をお願いする。

- 1 相生山緑地を起点とする緑のネットワークを視点にして、市道弥富相生山線の道路事業の廃止手続を早急に市民とともに進めること。

平成28年陳情第17号

都市計画審議会において、速やかに市道弥富相生山線の道路事業の廃止を決定することを求める件

陳情者 天白区天白町大字野並字相生28番地の341
相生山の自然を守る会
代表 近藤国夫

要旨

2010年に市道弥富相生山線の工事が中断されて6年半がたち、また、市長が市道弥富相生山線の道路事業の廃止の声明を出して1年半がたった。この6年半の間に、工事のため伐採され何もなかった空き地にもたくさんの樹木が生え、森が復活している様子が見られるようになった。

今年も、5月には、ヒメボタルのすばらしい乱舞が見られ、たくさんの人が訪れた。

名古屋市に残された貴重な自然であるこの森を未来の子供たちに残していくことこそ、私たちの務めと考える。

ついては、次の事項の実現をお願いします。

- 1 都市計画審議会において、速やかに市道弥富相生山線の道路事業の廃止を決定すること。

平成27年請願第8号

相生山緑地に関する道路事業の廃止及び整備について、「市民による住民意向調査」の集計結果を尊重し、反映させることを求める件

請願者 天白区山根町103番地
相生山緑地を考える市民の会
共同代表 可知正孝

要旨

2014年12月26日に河村市長は、1 市道弥富相生山線の道路事業の廃止、2 近隣住宅地への通過自動車の入り込みの対策、3 相生山緑地の整備を表明した。

市道弥富相生山線の建設工事は、河村市長の命により中断して5年がたっている。2010年には、道路建設についての検証が有識者で構成された学術検証委員会で6回行われ、報告書が河村市長に提出された。報告書にある地域住民等の高度の判断を受けて、2013年の市長選挙では、河村市長は、「相生山は住民投票で」としていたが、実際には、住民投票ではなく、市長が道路事業の是非の判断をするためとして、2014年10月11日、住民意向調査を天白区役所において行い、住民の意向を聴取した。

河村市長の道路事業の是非に関する判断に至るまでのこのような経緯の中で、2015年6月8日に相生山緑地を考える市民の会へと改名した私たち市道弥富相生山線を考える市民の会は、名古屋市の都市計画緑地である相生山緑地を横切る市道弥富相生山線の建設工事に関して、市民・住民の意向が是か非かを知ることがを目的に、2014年9月27日から10月31日までを調査期間として、「市民による住民意向調査」を行った。

1093人の名古屋市民がこのアンケートに回答したが、その結果は、「道路建設を中止して緑地にする」が74%、「継続して道路建設をする」が16%、「わからない(その他)」は10%であった。

また、それぞれの理由を10項目から選択した結果は、「道路建設を中止して緑地にする」と答えた7割以上が「緑地を分断して自然を破壊するから」及び「ヒメボタル・オオタカの生息地を守る」の2項目を選択理由として選んでいる。

このように、市民・住民の意向を伝えると同時に、このアンケートの集計結果を尊重し、市政に生かすようお願いする。

河村市長の表明は、市民の意向に沿ったものであると考えている。速やかに市道弥富相生山線の道路事業の廃止を都市計画決定し、緑地整備に向けて進めてほしい。

また、緑地整備計画については、市民が参画できるシステムを設けることにより、市民の意向が尊重及び反映され、市民の活力が生かされる市政が実現するようにしてほしい。そして、新たな相生山緑地が市民の願いの結晶として、世界に発信できるようになることを願っている。

ついては、次の事項の実現をお願いする。

- 1 河村市長が表明した市道弥富相生山線の道路事業廃止及び近隣住宅地への通過自動車

の入り込みの対策については、「市民による住民意向調査」の集計結果を尊重し、速やかに実現すること。

2 河村市長が表明した相生山緑地の整備については、「市民による住民意向調査」の集計結果を尊重し、緑地を分断して自然を破壊しないこと、そして、ヒメボタル・オオタカの生息地を守ること。

3 相生山緑地の整備に、市民の意向を尊重し、反映するために、市民が参画できるシステムをつくること。

(参 考)

平成27年8月11日 保 留

平成28年5月11日 保 留

